

令和7年10月22日

News Release

経済部企業立地担当課長

「未来のDITチャレンジ成果報告会」市長表敬

下記のとおり、函館市内に拠点を開設し、業務システム開発等を手がけるIT企業「デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社」が、「函館市を人口減少から救え」というテーマで開催した社内新規事業提案イベント「未来のDITチャレンジ」の最優秀賞および審査員特別賞受賞者が市長を表敬訪問し、提案内容や今後の展望について報告いたしますので、報道方よろしくお願ひします。

記

1 未来のDITチャレンジ概要

未来のDITチャレンジとは、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社DXビジネス事業部主催の全従業員を対象とした新規事業提案イベントであり、今年度は「函館市を人口減少から救え」というテーマで新たな事業モデルを創出するアイデアを募集した。（※提案内容の概要等については別紙参照）

2 表敬訪問について

- (1) 日時 令和7年10月24日（金） 10時30分～11時00分
- (2) 場所 函館市役所 市長会議室（函館市東雲町4番13号）
- (3) 概要 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社が毎年開催している新規事業提案イベント「未来のDITチャレンジ」の最優秀賞、審査員特別賞受賞者の提案内容紹介および今後の展望についての説明
- (4) 出席予定者
- | | |
|------|-----------------------|
| 函館市側 | 函館市長 大泉 潤 ほか |
| DIT側 | 最優秀賞受賞者 関口 法立 |
| | 審査員特別賞受賞者 関島 愛織 ほか |
| | DX推進事業部 担当部長 土岐 耕平 ほか |

3 函館拠点の概要

- (1) 名称 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
DXビジネス研究室函館分室
- (2) 所在地 函館市桔梗町 379-32

函館市産業支援センター インキュベータールーム 2 号室

(3) 設 立 令和 5 年 1 1 月 1 日

4 企業概要

- (1) 名 称 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
(東証プライム市場, 証券コード 3916)
- (2) 資 本 金 4 億 5, 3 1 5 万 6 千 円
- (3) 売 上 2 4 1 億 5 千 万 円 (令 和 7 年 6 月 期)
- (4) 設 立 平 成 1 4 年 1 月 4 日
- (5) 所 在 地 東 京 都 中 央 区 八 丁 堀 4-5-4 FORECAST 桜橋 5F
- (6) 代 表 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 市 川 聡
- (7) 従 業 員 数 1, 6 4 2 人 (連 結)
- (8) 事 業 概 要 各 種 シ ス テ ム 開 発 ・ 検 証 ・ 運 用 ・ 保 守 ・ 自 社 商 品 事 業 等

【デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社について】

同社は、業務系システム開発や組込み系システム開発、システム運用を得意とする独立系 SIer であり、業務効率化、セキュリティ分野での自社製品開発・自社販売も行っている。東京都、神奈川県、大阪府、仙台市、アメリカに拠点を構え、IT サービス全般を広く支援しているほか、平成 25 年には愛媛県に拠点を開設し、四国近隣での地域密着型の IT ビジネスを展開しており、ワンストップサービスの提供による地域活性化に貢献している。

市川社長（函館ラ・サール高校卒）と成田執行役員（松前高校卒/福島町出身）がともに函館に縁があり、IT 人材の確保の課題を、函館を拠点とした地元就職で解決したいという思いから令和 5 年 11 月「DX ビジネス研究室函館分室」を設立。

同分室では、ローコード開発などの成長分野のニアショア事業・DX 技術センター化および地元企業と連携した狭小商圏での地方ビジネスモデルの確立に取り組み、地域雇用の促進および DX 推進という形で地域経済へ貢献していくこととしている。

5 問い合わせ先

函館市経済部企業立地担当 竹崎

TEL:21-3987

未来のDITチャレンジについて

- ・DIT 全従業員を対象に、「函館市を人口減少から救え」というテーマで新規事業イベントを開催
- ・応募総数 13 件のうち、一次審査を通過した 4 件にプレゼン形式での二次審査を実施し、最終的に最優秀賞および審査員特別賞を選定
- ・最優秀賞および審査員特別賞受賞者が表敬訪問し、提案内容の報告や今後の展望等について報告するもの



函館市を
人口減少から救え

DXビジネス事業部主催のDITグループ全従業員を対象にした新規事業提案イベントのご案内です。

DXビジネス事業部は、2023年11月函館分室を開設しました。今回は函館を舞台に、DITグループ全社員の皆様からビジネスアイデアを募集し、新たな事業モデルを創出するイベントを開催いたします。(優秀なアイデアにはインセンティブをご用意しております)

今回のテーマは

函館市を
人口減少から救え

現状の仕事の領域に拘ることはありません・IT以外の領域でもOKです

参加者は、DITグループのすべての社員・契約社員・嘱託社員・パートアルバイトの皆様が対象です
年齢問わず・経験問わず(誰でも参加自由)

新たな収益確保事業が主体ですが、継続的に社会貢献や企業アピールできる事業も可能です
収益アップビジネスが望ましいが、継続的な社会貢献ビジネスでもOKです

【全エントリーテーマ】

エントリー NO	氏名	所属	タイトル
1		NN	防災対策都市計画 函館
2		ES	ドローンの街 函館
3		ES	一定航路バスの自動運転運用の可能性の検討
4	関口 法立	DX	函館市のドローンサブスク事業「Sky Hakodate ～空から繋ぐ、街の未来～」
5		DX	未来農園AIアイコ～AI活用トマト収穫支援サービス～
6		QE	テクノロジーを活用した函館高齢者支援プロジェクト：～DITが拓く、函館シニアライフの新時代～
7		ITS	「NFT」を活用した地方創生
8		DX	閉校した専門学校をリノベーション DIT×専門学校ビルを街のシンボルに
9		SB	大学・高専×DITの研究への協力支援による新規事業の創生
10		SB	函館市限定のスカウト型就活・転職サービス
11		関島 愛織 今村 真紀 川崎 敬介 本山 泰裕	SB
12		BS	Hakodate Next Base～函館を次なる拠点へ～
13		QE	函館×メタバース×ゲーム：函館が舞台のサバゲーを通して魅力を感じてもらい、移住者増加へつなげる！

🏆 最優秀賞。

🏆 審査員特別賞。

【二次審査及び授賞式の様子】



(1) 最優秀賞

函館市のドローンサブスク事業 rSky Hakodate ～空から繋ぐ、街の未来～」

- 本事業はドローンサブスクモデルを函館市で展開し、ドローンレンタル、操作訓練、DIPS申請代行等のドローン事業を行いながら、本事業に興味のある移住者、定住者増を図る。
- ドローン企業を誘致することで地元出身者を積極採用する働き口を作ることで人口流出を防ぐことを目的としている。

(2) 審査員特別賞

【函館移住体験×IT】イカした未来の街づくり

- 本事業は、函館市の移住希望者（特にフルリモートワーカーや子育て世代）に対し「移住体験」を提供し、移住のハードルを下げることで定住人口の増加を目指すもの。
- 定住者の増加とともに地域企業とのマッチング支援やIT人材の育成を行い、函館をリモートワークの集積地として確立し、最終的には、企業が函館に拠点を設けやすい環境を整え、「移住⇒定住⇒企業誘致」の流れを作る事を目的としている